

ことばの
意味を
学ぼう！

青年訓 ②

道に遵いいざ奮い起て 平和の建設我等の使命

●青年訓
天恵地恩に感謝を捧げ 報恩奉仕が人の道
道に遵いいざ奮い起て 平和の建設我等の使
命 逆巻く怒濤猛くとも 天意は固く揺るぎ
なし 泰然自若訓練に耐えよ 事に臨んで不
動なれ 真理つかめば心は躍る 大地踏みし
め 天職努力 徳を積みつつ進めよ和せよ 自
然の恵は必ず降る 暗い世道に悲観をするな
明るい朝が待っている 一歩踏み出し大空望
め 光明希望が展げくる 怒るな責めるな苦
しむな 善きも悪しきもみな鑑 憂い打ち捨
ていざ突き進め 信念一つで万事を開く

人として歩むべき感謝報恩の道にしたがい、平和社会を築いていきましょう。それには、まず私たち自身の行動が何より大切なのです。

- ※ 道 ▶ 感謝報恩の道
- ※ 奮い起つ ▶ 気力が盛んになる
- ※ 平和 ▶ 争い、戦争、心配事がなく穏やかなこと
- ※ 使命 ▶ 与えられた重大な務め



金剛さまは大自然の法則に沿って生きることもがなにより幸せになることと悟られ、それを感謝報恩の道として示されました。その道は、人として歩むべき正しい道であり、個人の幸せを図るだけでなく全人類が望む「平和」を築く道でもあります。そこに私たちが自分自身を奮い起たせ、努力していかなければならない理由があります。

「平和」とは漠然としすぎて掴みどころがないですが、大きく世界のこととして見ると、戦争がなく平穏で豊かな生活ができることであり、小さく自分の身近なこととして見ると、生活に困らず争いごとのない穏やかな暮らしを指すでしょう。

解脱会の大理想に「共存共栄全世界の平和」と掲げられています。

その実現がどれだけ難しいか。そんなことは到底無理だと思いかもしれませんが、「千里の道も一歩から」といいますように、「平和」は小社会といわれている家庭や身近な周りの人に対して、相手を尊重しつつ自分から合わせていく努力をしていくことで近づくのです。

例えば、毎日の生活の中では自分から笑顔で挨拶をすることや、相手の喜ぶことを率先してさせてもらうことから始められると思います。その笑顔や親切が人から人へ次々と伝わり、広がってゆく中に「平和」が生まれるのだと思います。

世界も、国も、家庭も、私たち一人ひとりから成り立っています。まず自分一人からでも着実に一歩を踏み出していきましょう。